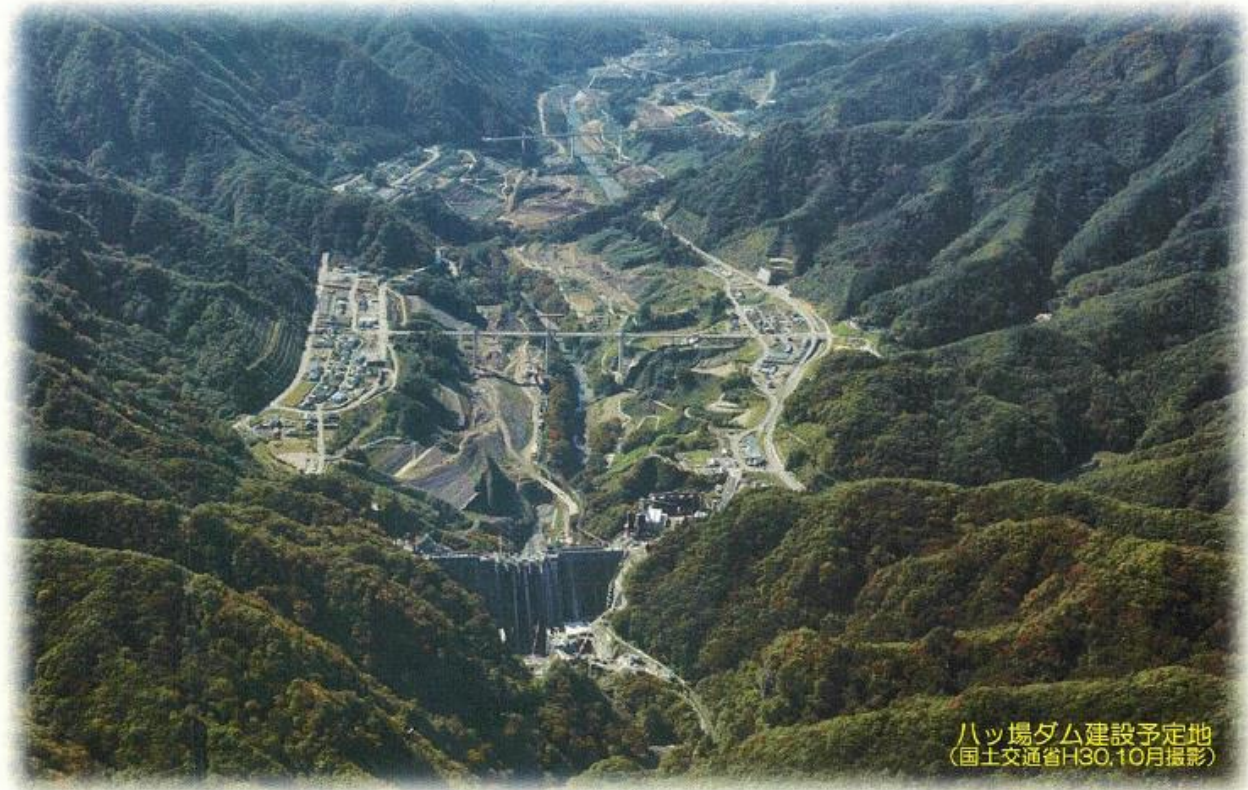


ハツ場ダム建設関連工事見学会・説明会

(川原湯温泉宿泊助成事業)



群馬県のマスコット
ぐんまちゃん



ハツ場ダム建設予定地
(国土交通省H30.10月撮影)

心にググっと 群馬県

はじめに:川原湯温泉宿泊助成事業について

- ハッ場ダム建設に伴い、川原湯温泉街は新しい代替地に移転する予定ですが、代替地整備が遅れ、旅館が移転できない状況にありました。
- また、各旅館では移転を目の前にして、思うような設備投資もできず、川原湯温泉の宿泊者数も、年々減少傾向で、現地再建を断念した旅館もあります。(宿泊者数:ピーク時の約1/3程度にまで減少)
- このような状況の中、平成20年度にダム本体の完成が5年間延伸され(平成22年度から平成27年度)、宿泊者の減少に拍車をかける形となりました。
- これを食い止めるため、群馬県では「ハッ場ダム地域生活再建推進連絡会」を設置し、水没関係住民及び地域の課題に対して、緊急支援策を決定しました。
- この支援策の一つとして、「川原湯温泉宿泊助成事業」を平成20年度から実施し、宿泊者数の増加を図っています。
- なお、平成25年度に、ダム本体の完成が更に4年間延伸され、平成31年度となっています。



川原湯温泉共同浴場 王湯
(平成26年7月5日オープン)



湯かけ祭り(毎年1月20日)
<平成27年からは代替地で開催>



ハッ場ダム建設事業の概要

○場 所

群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字ハッ場
(利根川水系吾妻川)

○目 的

①首都圏1都5県(東京、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬)を洪水の被害から守る。
(ひとつのダムで利根川上流6ダムの約6割の治水効果がある)

②首都圏1都4県(東京、埼玉、千葉、茨城、群馬)の水需要を確保する。

③流水の正常な機能の維持
名勝吾妻峡の景観保全、河川環境の維持

④発電(群馬県企業局)
(一般家庭約12,000軒分の電気を供給)

○諸 元

重力式コンクリートダム
高さ約116m、幅(堤頂長)約291m
総貯水容量 1億750万 m^3

○事業費

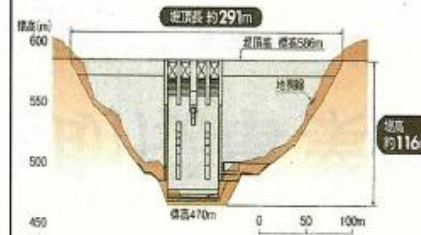
約5,320億円

○工 期

平成31年度完成



ダム下流断面図(案)



ダム標準断面図(案)

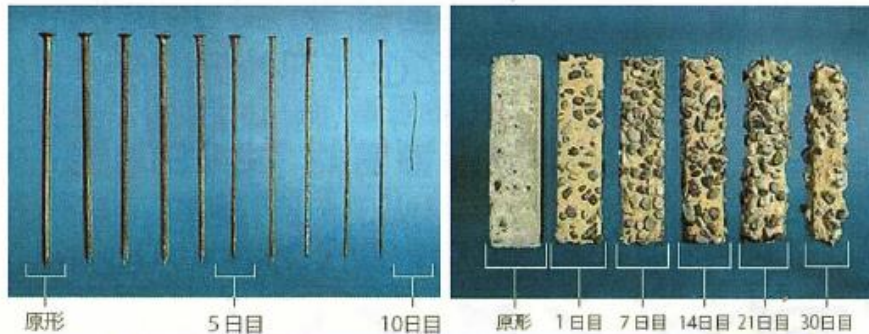


ハツ場ダム建設の歴史(1)

- 昭和22年9月にカスリーン台風が関東地方を直撃
- 昭和27年に洪水被害軽減を図るため国がハツ場ダムを計画(今年で67年目)
- 吾妻川が強酸性水質のため調査中断
- 昭和38年に群馬県が酸性水中和工場をつくり、中和により河川水の利用が可能となる(管理は国交省へ移る)
- 昭和39年にハツ場ダムの調査を再開



カスリーン台風被害の様子



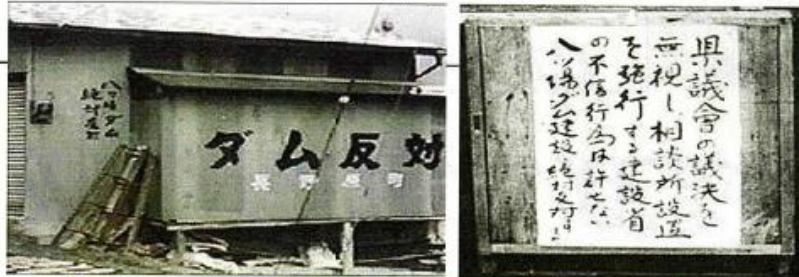
強酸性湯川の水(pH2.1)につけた五寸釘とコンクリート



中和工場では石灰を投入して湯川の水を中和。下流の品木ダムで中和促進、中和生成物の沈殿、堆積、浚渫を行う

ハツ場ダム建設の歴史(2)

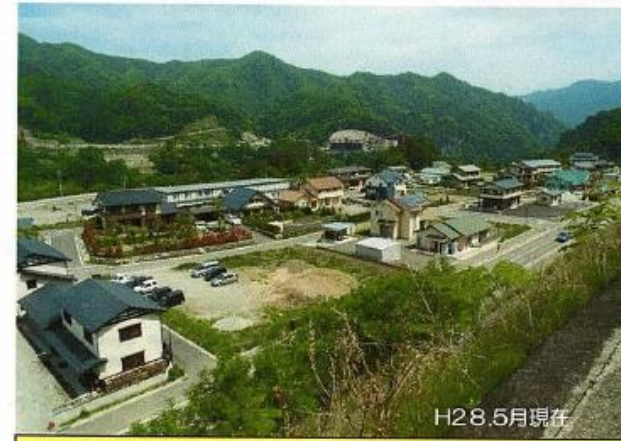
- 昭和44年に初のダム説明会を開催し、地元から強い反対
- 昭和55年、群馬県が長野原町に「生活再建案」を、吾妻町(現:東吾妻町)に「振興対策案」を示してから、地域住民の方は徐々に賛成に変化
- 昭和60年、長野原町長と群馬県知事は「生活再建案」について包括的な合意
- 平成4年(長野原町),7年(吾妻町)
地域住民の方は、苦渋の選択として「ハツ場ダム建設事業に係る基本協定書」を締結。
基本協定書は、「ダム建設と生活再建を実施するという、国と地域の約束」
- 平成13年、「利根川水系ハツ場ダム建設事業の施行に伴う補償基準」を調印
- 平成17年、「代替地の分譲基準」を調印、住民移転へ



ダム反対の小屋・ダム反対の張り紙



平成4年 基本協定書締結



移転が進む川原湯地区・打越代替地

ハツ場ダム建設の歴史(3)

- ・平成21年 9月:国土交通大臣が「ハツ場ダム建設事業の中止」を表明
この中止表明に対し、地域住民及び下流の1都5県から強い反対
- ・平成21年10月:国土交通大臣が1都5県(東京、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬)知事に対し、ハツ場ダム事業の検証を行うことを表明
- ・平成22年 9月:ハツ場ダム事業検証のための関東地方整備局と1都5県による「検討の場」開始
- ・平成23年12月:国土交通大臣が「ハツ場ダム建設継続」を表明
- ・平成25年 7月:ハツ場ダムの本体工事に必要な関連工事に着手
- ・平成25年11月:ハツ場ダムの建設に関する基本計画の変更(第4回)
工期:H27年度からH31年度に4年間延期
- ・平成26年 8月:ハツ場ダム本体建設工事の契約(契約日:8月20日)
- ・平成26年10月:ハツ場ダム本体建設工事の測量開始(10月16日)
- ・平成27年 1月:ハツ場ダム本体左岸において発破による掘削工事開始(1月22日)
- ・平成27年 2月:ハツ場ダム本体建設工事起工式(2月7日)



起工式の様子(H27.2)



ダム本体右岸掘削状況(H29.3)



定礎式の様子(H29.3)

ハッ場ダム建設の歴史(4)

- ・平成27年 4月:ハッ場ダム建設工事の事業認定を申請(4月10日)
- ・平成28年 4月:ハッ場ダム建設工事の事業認定を告示(4月22日)
- ・平成28年 6月:ハッ場ダム本体コンクリート打設開始(6月14日)
- ・平成28年12月:ハッ場ダム建設に関する基本計画の変更(第5回)(12月14日)
事業費4,600億円から5,320億円に変更
- ・平成29年 3月:ハッ場ダム本体定礎式(3月4日)

今後の予定は、ハッ場ダム本体コンクリート打設完了
試験湛水を経て、平成32年 3月:ハッ場ダム完成



ダム本体コンクリート打設状況(H29.6)



ダム本体打設状況(H30.6)

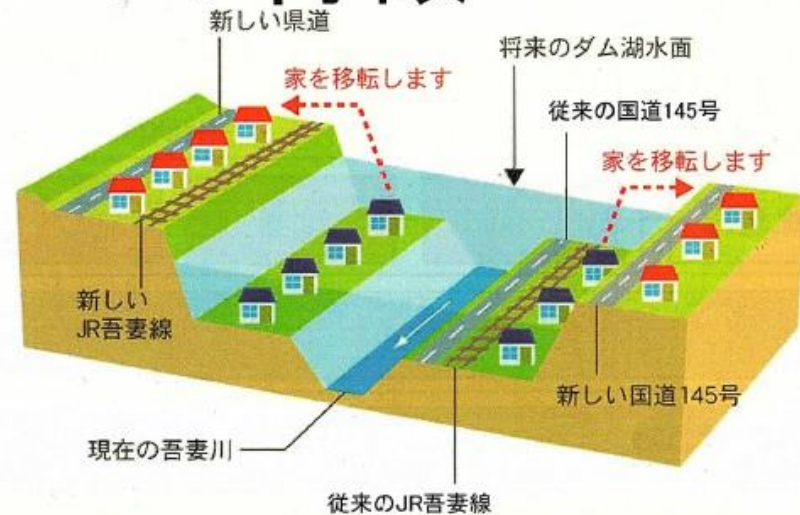


完成イメージ (H27.2月時点)

3. ハツ場ダムの特徴

① 現地再建方式を採用

他のダムでは、他の地区へ移転する事例が多いが、ハツ場ダムでは、現在の集落の山側に代替地を造成して移転する「ずり上がり方式」を採用



② 上流地域の経済活動の存在

他のダムの建設地点は、山あいの行止まりのところが多いが、ハツ場ダムの上流には、長野原町の外、草津町、嬬恋村、旧六合村の3町村で約2万人が生活している。

また、上流は全国でも有数の観光地で、草津温泉、浅間高原、北軽井沢等に大勢の観光客が訪れている。

③ 温泉街が水没

川原湯温泉が水没する。温泉の水没は全国でもあまり例がない。

ハッ場ダム事業の進捗状況（平成31年3月末時点）

補償基準他	H13. 6 長野原町補償基準妥結 H16.11 吾妻町補償基準妥結 H17. 9 代替地分譲基準妥結				
	} 地権者との用地補償等に係る基準はすべて妥結				
用地取得 (456ha) ※1	97% (444ha) ※3				
家屋移転 (470世帯) ※2	100% (470世帯) ※3				
代替地造成	5地区で整備中（うち移転済み 96世帯）※3				
付替鉄道 (10.4km)	100% (10.4km)				
付替国道・付替県道 (24.4km)	100% (24.4km) ※4				
ダム本体 及び関連工事	仮排水トンネル (H21.7完成)	作業ヤード造成、 管材プラットフォーム造成、 工事用道路、仮締切	掘削	コンクリート打設 ※5	試験湛水

※1 長野原町、東吾妻町におけるハッ場ダム建設及び関連工事のために必要な用地の合計。

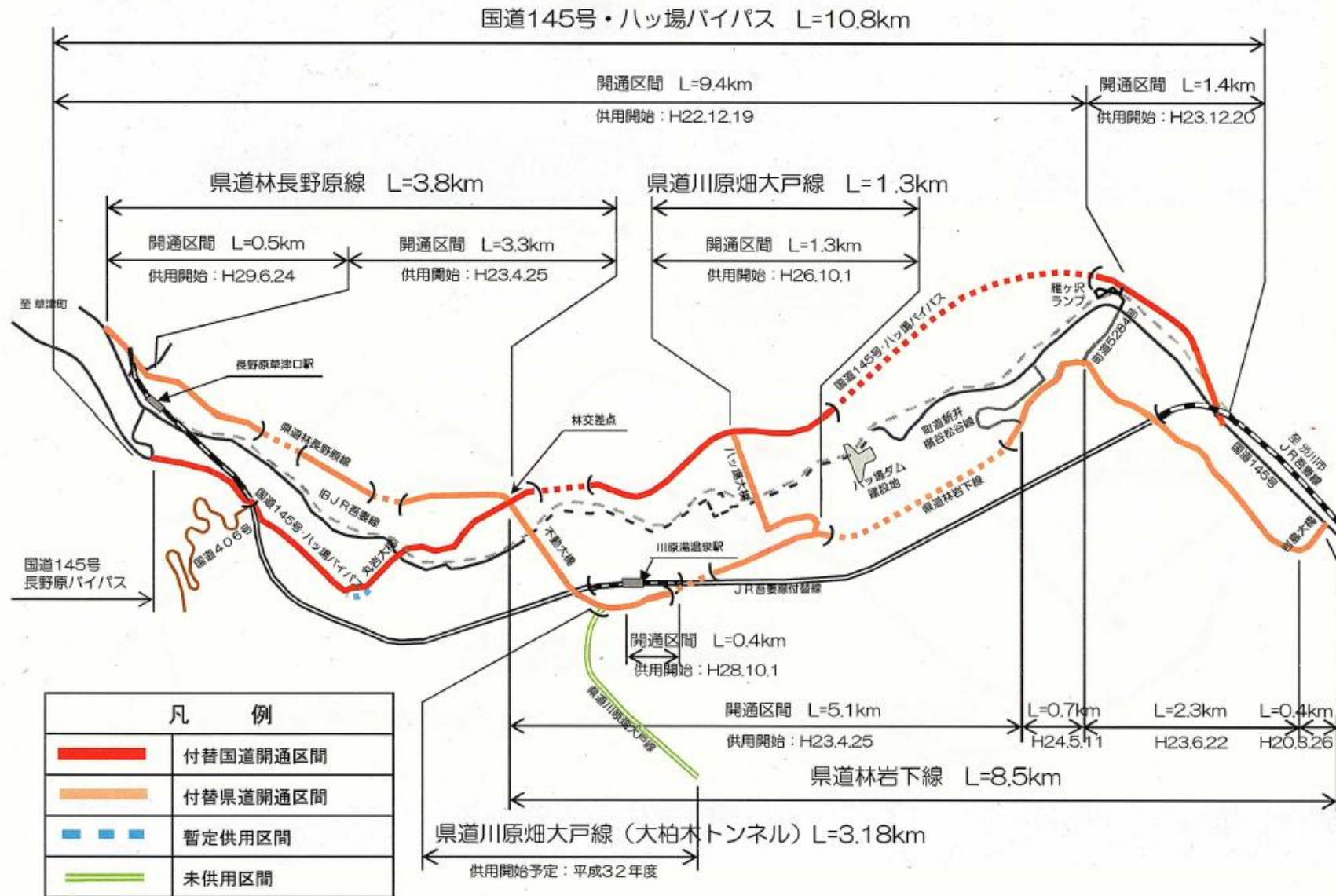
※2 長野原町、東吾妻町におけるハッ場ダム建設及び関連工事のために必要な移転家屋の合計。

※3 水没地内の家屋はすべて移転済み。

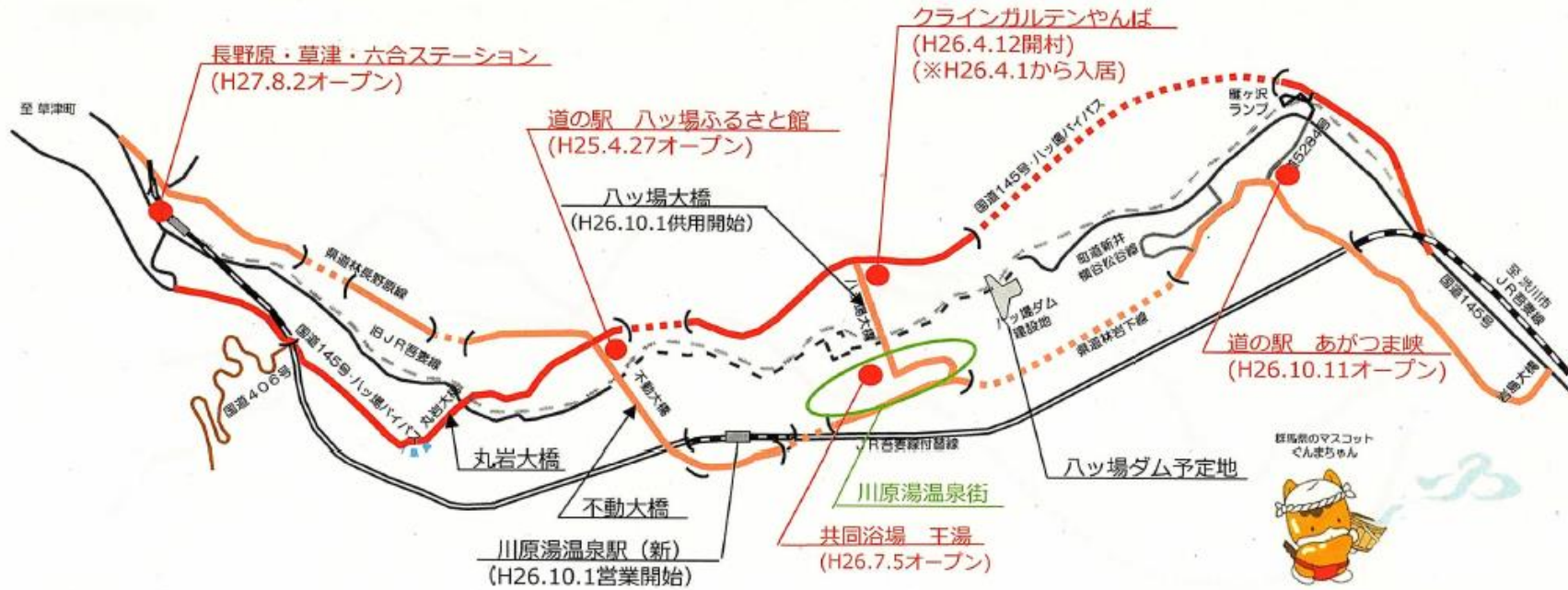
※4 付替国道県道の付替延長に対して、供用（暫定供用を含む）している延長の割合を示す。また、付替町道工事は継続して実施中。
付替国道県道の延長には、（一）林岩下線の細谷工区を含む。

※5 放流設備据付等仕上げ作業を実施中。

ハッ場ダム関連付替国道県道の開通状況 (平成31年4月時点)



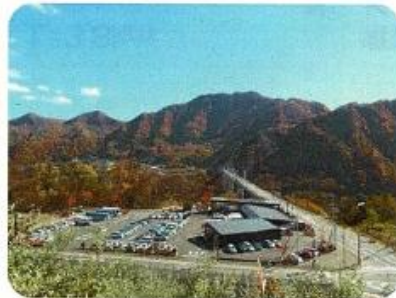
ハツ場ダム周辺の地域振興施設



長野原・草津・六合ステーション



道の駅 ハツ場ふるさと館



クラインガルデンやんば



道の駅 あがつま峡





平成31年4月

群馬県 県土整備部 八ッ場ダム水源地域対策事務所 作成